

タイマーを試す日の記録

保護者用。家にあるタイマーでも試せます。購入は必要ありません。

「時間が来たら、一度手を止めて続き方を考える」と先に伝えます。

始める前に、今日の区切りを決める

取り組むこと：

区切り方： 時間で区切る（ 分） / 量で区切る（ 問・枚）

音が気になる場合：音を使わず、大人が終わりを知らせる方法も選べます。

終わったあと、見えたことを一つだけ書く

例：「残り時間を何度も見た」「鳴ったら手を止めて、続きを相談した」

1回目 日付： 月 日 使った区切り：

子どもの様子：

次に試すこと： 同じ区切り / 短くする / 量で区切る / 休む

ひとこと：

2回目 日付： 月 日 使った区切り：

子どもの様子：

次に試すこと： 同じ区切り / 短くする / 量で区切る / 休む

ひとこと：

3回目 日付： 月 日 使った区切り：

子どもの様子：

次に試すこと： 同じ区切り / 短くする / 量で区切る / 休む

ひとこと：

時計を見るほど焦る、書き方が雑になる様子なら、途中で外して構いません。

3回は記入欄の数です。3回続ける必要や、効果を判定する基準ではありません。

プリントの置き場所ラベル

まずは「きょうやる」「終わった」の2枚だけ。箱やファイルに貼って使います。

「終わった」は子どもが書き終えた紙の置き場。丸つけは保護者が確認します。

点線に沿って保護者が切り取り、使うラベルだけを選んでください。

きょうやる

いま とりくむ かみ

終わった

かきおえた かみ

もういちど

あとで みなおす かみ

もっていく

がっこうや じゅくへ

あとでつかう

いまは つかわない かみ

のこしておく

とっておきたい かみ

置き場所に迷ったら、分け方を一つ減らす

ラベルを増やして迷うなら、最初の2か所に戻して試します。

提出する紙は、家庭で保管する紙と分け、持ち運ぶ袋に入れます。

読むことがまだ難しい場合は、置く場所を一緒に確かめてから使います。

空き箱や手持ちのファイルで試し、入れにくい点が残ったら収納を選びます。